

野球部だより

高松市民早朝野球（２部・３部）

…野球部監督 権 成基…

新入部員４人を迎え、新たなスタートを切った医師会野球部の活動は今年も例年どおり４月に始まりました。昨年は高松市医師会ゴルフ同好会の賢島カントリークラブでのゴルフコンペに参加した翌日に、USJで２歳の愛娘を抱いて歩き回りヘルニアによる腰痛を発症。その後一週間で迎えた早朝野球ではキャッチャーという、私にとっては、苦行のようなスタートをむかえた早朝野球でした。しかし、今年は体のどこにも痛みがないという、この数年ではあり得ない奇跡的な状態で早朝野球に臨むことができました。

高松市医師会野球部は昨年に引き続き、選手の不足で５０歳以上の４部では早朝野球に残念ながら参加できませんでしたので、年齢制限なしの２部と、４０歳以上の３部に参加するのみとなりました。

３部１回戦 対 ３部の強豪 ITALY

６月１７日（月） 東部運動場 ５：４０プレイボール

一回表、医師会

１番センター佐野が死球で出塁したが、２番サード太田はショートフライに倒れた。３番ショート権はあたりの悪いサードゴロとなったが一塁の捕球エラーを誘い一死二三塁となった。４番ピッチャー三浦セカンドゴロの間に幸先よく１点先制し二死三塁となったが、５番ライト井垣はレフトフライとなり追加点のチャンスを逃した。

一回裏、ITALY

医師会先発の妹尾は先頭打者をサードゴロに打ち取ったが、センター前ヒット、ショート内野安打と連打されたうえ盗塁も許し一死二三塁となった。４番ショートゴロの間に１点を、さらに５番センター前ヒットで２点を取られた。６番にレフト前に打たれ二死一二塁となったが７番をサードゴロとした。

二回表

６番ピッチャー妹尾、７番セカンド武田、８番レフト浅野は三者凡退となった。

二回裏、医師会守備の変更

(レフト浅野に代わってライトから井垣が、ライトに権、ショートに松本)

この回先頭の8番を三振としたが、9番に死球後盗塁を許すと1番にセンターオーバー二塁打を打たれ1点を追加された。さらにセンター前とレフト前に連打されこの回2点目を失ったが、4番サードゴロ三塁フォースアウトで二死となった。5番にショート内野安打を許すも6番を三振とした。

三回表

この回の医師会の攻撃は9番ファースト松岡からであったが三者凡退となった。

三回裏、医師会守備の変更

(ピッチャー妹尾に代わり三浦、妹尾がショート、松本がキャッチャー)

三浦は先頭の7番に死球で出塁を許すと8番にショート内野安打。9番ファーストゴロで一死二三塁とされると1番にセンターオーバーの2点三塁打を打たれた。しかし、後続の二人は外野フライで仕留めた。

四回表

先頭の3番権は右中間に大きなあたりを放ちランニングホームラン、反撃ののろしを上げた。つづく4番三浦はセカンドゴロ内野安打と盗塁で二塁へ進みチャンスを広げたが後続の三人は凡退した。

四回裏、医師会守備の変更

(セカンド武田が下がり、セカンドに松岡、ファーストに権、ライトに宮武)

三浦は4番、5番に連続四球を与えたが、後続を簡単に抑えた。

五回表

先頭の8番松本三振の後、松岡が振り逃げで出塁すると、1番佐野がセンター前ヒット。続く太田がセカンドゴロで佐野が二塁でアウトとなるも、すぐさま二盗を決めて二死二三塁。前打席ホームランの権であったが、三振した。

五回裏

レフト前ヒットと四球、ワイルドピッチで二三塁となったところで2番にライト前ヒットを打たれ1点を取られたが、後続は難なく抑えた。

六回表

時間切れで最終回の攻撃となった。先頭の4番三浦はサードゴロ内野安打となって出塁したが二盗に失敗。しかし井垣はファーストエラーで二塁まで進塁、妹尾がレフト前ヒットで一死一三塁となった。ここで宮武三振、松本はファーストゴロに終わり敗戦した。

早朝野球大会 3部 1回戦 令和元年 6月17日(月) 東部運動場

チーム名	1	2	3	4	5		計
医師会	1	0	0	1	0		2
ITALY	2	2	2	0	1		7

1) 8 佐野 2) 5 太田 3) 6→9→3 権 4) 2→1 三浦 5) 9→7 井垣
6) 1 妹尾 7) 4→9 武田→9 宮武 8) 7→6 浅野→6→2 松本 9) 3→4 松岡

2 部 1 回戦 対 西高松エンドルフィンズ（西高松脳外科のチーム）

6 月 10 日（月） 西部運動公園， 5：40 プレイボール

西高松エンドルフィンズ先攻で試合開始となった。

一回表， 西高松エンドルフィンズ

医師会先発の赤井は先頭打者にセンター前に単打を許したが， 2 番 3 番を連続三振。 4 番を四球としたが， 5 番を三振とした。

一回裏， 医師会

1 番サード三浦ショートゴロで一死の後，
2 番センター河井が四球と盗塁で二進， 3 番太田ファーストフライで二死となったが， 4 番キャッチャー山地はレフトオーバーの二塁打を放ち 1 点を先制した。 5 番ライト権はサードゴロに倒れた。



二回表

先頭の 6 番に四球を許したがショートフライと連続三振で後続を断った。

二回裏

6 番レフト浅野ピッチャーフライ， 7 番セカンド妹尾（父）ピッチャーゴロ， 8 番ピッチャー赤井セカンドフライで三者凡退となった。

三回表

安定したピッチングを見せる赤井は， 1 番をサードフライ， 2 番を三振としたが 3 番を四球で歩かせると 4 番がショートエラーで出塁， 二死一三塁と初めてのピンチを迎えたが， 落ち着いた投球で 5 番をサードゴロに打ち取った。

三回裏

9 番ショート妹尾（Jr）レフトフライで一死。 1 番三浦レフト前ヒットで出塁したが二盗成功の後， 三塁を狙い二死。 3 番河井も四球の後二盗で失敗， 相手捕手の好送球に行く手を阻まれた。

四回表

この回先頭の 6 番にライトオーバー三塁打をいきなり打たれたが次打者はショートゴロに打ち取った。ピンチは続いたが， 8 番はスリーバントスクイズに失敗しキャッチャー山地が三塁ランナーを追いかけタッチアウトとした。

四回裏

3 番太田三振， 4 番山地サードゴロで二死となったが， 5 番権はライト前ヒットで出塁， もう 1 点が望まれたが， 6 番浅野の代打佐野は三振となった。

五回表

赤井は9番から始まる相手の攻撃をセンターフライ、ショートゴロ、サードフライと簡単に6球で終わらせた。

五回裏

いい流れに乗って追加点の欲しい医師会であったが、先頭の7番妹尾（父）がレフト前ヒットで出塁したが続く二人が凡退。1番三浦は四球を選んだが牽制タッチアウトとなった。

六回表

時間切れのため、この回1点を守り切れれば勝利であったが、疲れのためか赤井は制球に苦しみ3番4番に連続四球を与えて逆転のランナーを許した。しかし、5番6番を連続三振で打ち取ると、最後の打者をサードフライに打ち取り勝利した。キャッチャー山地のもぎ取った1点をヒット二本、9奪三振で0点に相手を封じた、絵にかいたようなバッテリーで勝ち取った試合であった。



早朝野球大会 2部 1回戦 令和元年6月10日(月) 西部運動場

チーム名	1	2	3	4	5		計
西高松エンドルフィンズ	0	0	0	0	0		0
医師会	1	0	0	0	0		1

1) 5三浦 2) 8河井 3) 3太田 4) 2山地 5) 9権 6) 7浅野→7佐野
7) 4妹尾知典 8) 1赤井 9) 6妹尾知哉

2部 2回戦 対 県立中央病院

6月20日(木) 西部運動公園, 5:40プレイボール

高松市医師会先攻で試合は開始した。

一回表, 医師会

先制点を取り赤井の援護をしたい医師会であったが、1番サード三浦ショートフライ, 2番ファースト太田サードフライ, 3番センター河井三振。簡単に三者凡退とされた。

一回裏, 県立中央病院

1番セカンドフライ, 2番三振, 3番ピッチャーフライと医師会赤井も三者凡退に県立



中央病院を抑えて好スタートであった。

二回表

4番キャッチャー山地ファーストフライ、5番ライト権サードフライと簡単に二死となったが6番ショート妹尾（Jr）が左中間二塁打を打ちチャンスを作ったが7番セカンド妹尾（父）はサードフライに打ち取られた。

二回裏

4番キャッチャーフライ、5番にセンター前ヒットを許したが6番三振、7番キャッチャーフライとした。

三回表

8番ピッチャー赤井レフトフライ、9番レフト佐野ショートフライ。しかし1番三浦はファーストフライエラーで一気に三塁へ進んだが2番太田ショートフライとなって先制のチャンスを逃した。



三回裏

赤井は8番、9番、1番三者三振!!!

四回表

いい流れで迎えたこの回、3番河井が左中間二塁打、4番山地死球で出塁。ここで5番権がライト前ヒットで河井がホームを踏んで1点を先制し無死一二塁。6番妹尾（Jr）センターフライ、で一死となったが7番妹尾（父）がセンター前ヒットで2点目が入った。8番赤井ピッチャーフライで二死となったが、9番佐野のセンター前ヒットで権と妹尾（父）の二人が帰り、この回4点をもぎ取った。

四回裏

2番3番を連続三振したが4番にセンター前ヒット、5番四球を与えたが6番をピッチャーゴロに仕留めた。

五回表

太田、河井凡退したが、4番山地はセンター前ヒット。5番権はピッチャーゴロ。

五回裏

この回赤井に代わってマウンドに立った三浦は先頭の7番をピッチャーゴロで簡単に打ち取ったが、8番に四球と盗塁を許した。9番はサードフライとしたが1番にレフト前タイムリーを打たれ1点を返された。2番3番を連続四球として二死満塁のピンチを招いたが4番をピッチャーゴロに打ち取った。

六回表

6番妹尾（Jr）がセンター前ヒットで出塁、つづく妹尾（父）もレフト前に見事にヒットエンドランを決めたに見えたが、レフトからの好返球で妹尾（Jr）が三塁タッチアウト。8番赤井ライトフライで二死となったが、9番佐野レフト前ヒットで一二塁。ここで、1番三浦がサードにあたり損ねの内野安打で1点を追加して5対1とし

た。三浦が二盗してチャンスを広げたが2番太田はピッチャーゴロに終わった。

六回裏

サードエラーで先頭打者に出塁を許すと、レフト前ヒットと四球で満塁とされた。ここで迎えた9番でキャッチャーゴロエラーとなり1点を取られ、なおも満塁。さらにワイルドピッチで3点目を取られたが、後続を何とか断ち5対3で勝利した。

早朝野球大会 2部2回戦 令和元年6月20日(木) 西部運動場

チーム名	1	2	3	4	5	6		計
医師会	0	0	0	4	0	1		5
県中	0	0	0	0	1	2		3

1) 5→1三浦 2) 3太田 3) 8河井 4) 2山地 5) 9権
6) 6妹尾知哉 7) 4妹尾知典 8) 1→5赤井 9) 7佐野

2部3回戦 対 四国ガス

7月9日(火) 西部運動公園, 5:40プレイボール

高松市医師会先攻で試合開始となった。

一回表, 医師会

先頭のショート三浦は死球で出塁するとすぐに二盗を決めた。2番センター河井ショートゴロで一死。ここで三浦が三盗を失敗。3番ファースト渡辺もショートゴロに終わった。

一回裏, 四国ガス

二試合で好投を続けてきた赤井であったが、1番にレフト前, 2番にセンター前と二連打されると4連続四球で3点。7番から三振を取ったが、8番押し出し死球で4点を与えた。後続は三振とファーストフライで何とか打ち取った。

二回表

4番キャッチャー山地は四球, 5番ライト権はレフト前ヒット6番セカンド妹尾サードゴロで一死二三塁となった。7番ピッチャー赤井のサードゴロで山地がホームを狙ったがタッチアウト。8番太田四球で満塁としたが9番レフト佐野はショートフライに倒れた。

二回裏

調子の上らない赤井は先頭の2番に四球を与えると3番にセンター前ヒットと思いきや名手河井がまさかのトンネルで1点を取られなお無死三塁となった。続く4番のあたりは中間守備のセカンドゴロホームを狙ったサードランナーは、妹尾のホーム



ベースのギリギリ上への送球となりタッチアウト。気をよくしたか、赤井は5番6番を連続三振とした。

三回表

1番三浦が四球で出塁、二盗を決めると、2番河井が左中間三塁打で1点。3番渡辺、4番山地がともに四球を選び満塁とした。5番権は三振で一死。6番妹尾センター前ヒットで2点、7番赤井レフト前ヒット1点を取り、8番太田四球で再び満塁となった。打者一巡して1番三浦がレフトオーバー二塁打で2点、合計6点を取り逆転した。

三回裏、医師会は守備変更

(山地は怪我で退場、キャッチャー渡辺、ライト浅野、ファースト権)

立ち直ったかに思えた赤井であったが、この回も先頭の7番に四球を与えると盗塁を許し無死二塁とした。8番三振、9番に四球で一死一二塁となり、1番は当たり損ねのピッチャーゴロで二死二三塁となった。2番にセンター前ヒットを打たれ1点とられ同点となったが、二塁走者は河井のバックホーム送球でタッチアウトにした。

四回表

先頭の渡辺ピッチャーフライとなったが。浅野が四球を選ぶと5番権はサードゴロ内野安打で一死一二塁となった。6番妹尾レフトフライに倒れ二死となったが、7番赤井が執念のセンター前ヒットで浅野が帰り1点を勝ち越した。8番太田はファーストフライであった。

四回裏

時間切れでこの回が最終回。

赤井は3番をファーストフライで打ち取ったが、4番にレフト前ヒットを打たれた。代走がいきなり盗塁したがキャッチャー渡辺が盗塁阻止。5番は四球で出塁したが盗塁、二塁上でタッチアウトとなり、1点差の7対6で勝利した。



早朝野球大会 2部3回戦 令和元年7月9日(火) 西部運動場

チーム名	1	2	3	4		計
医師会	0	0	6	1		7
四国ガス	4	1	1	0		6

1) 6三浦 2) 8河井 3) 3→2渡辺 4) 2山地→2浅野 5) 9→3権
6) 4妹尾知典 7) 1赤井 8) 5太田 9) 7佐野

2部準決勝 対 警察学校

7月17日(水) 西部運動公園, 5:40プレイボール
警察学校先攻で試合開始となった。

一回表

先頭打者にレフト前ヒットを打たれ、二盗三盗を決められた。前の試合で立ち上がりで4点を取られたことが頭をよぎったが、2番三振、3番セカンドフライ、4番ファーストゴロと簡単に片づけた。



一回表

1番サード三浦はセカンドフライとなったが、2番河井レフト前ヒットで出塁、すかさず二盗したが失敗した。3番太田はピッチャーフライであった。

二回表

5番に死球を与えると二盗された。6番7番に連続四球で無死満塁となったが、8番ピッチャーゴロ、9番三振、1番ピッチャーフライとねじり伏せた。

二回裏

4番ピッチャー赤井ファーストフライ、5番ライト権セカンドフライ、6番妹尾(Jr)ピッチャーフライと三者凡退に終わった。

三回表

ショートフライとライトフライで2番3番を簡単に打ち取ったが、4番にレフト前ヒットを打たれ、再び二盗三盗を決められた。5番に四球6番に死球で二死満塁とピンチであったが7番から三振を奪った。

三回裏

7番キャッチャー渡辺セカンドフライで一死となるも、8番妹尾(父)センター前ヒットで出塁すると、9番佐野はレフト前にヒットエンドランを決めた。しかし、1番三浦、2番河井ともに三振となりチャンスを逃した。

四回表

この回先頭の8番に四球と二盗を許すと、9番はバントで送ってきた。バント処理したピッチャー赤井がここで一塁へ悪送球! 二塁走者がかえって1点は取られたが、ライト権が素早くカバーしてランナーを二塁にとどめた。続く1番にも四球を与えると2番の送りバントで一死二三塁となった。しかし、3番セカンドフライ、4番ピッチャーフライとして最少失点で切り抜けた。

四回裏

3番太田三振、4番赤井がピッチャーフライで二死、5番権の三遊間に鋭い当たりはショートの悪送球を誘ったが、ファーストに弾



かれたボールはカバーに走っていた相手キャッチャーの前へ転がり、二塁に向かった権は慌てて踵を返したがタッチアウトとなった。五回、六回と赤井は好投を続けたが、医師会の攻撃も三者凡退を繰り返し0対1で敗戦した。

早朝野球大会 2部準決勝 令和元年7月17日(水) 西部運動場

チーム名	1	2	3	4	5	6		計
警察学校	0	0	0	1	0	0		1
医師会	0	0	0	0	0	0		0

1) 5三浦→PH山地 2) 8河井 3) 3太田 4) 1赤井 5) 9権
6) 6妹尾知哉 7) 2渡辺 8) 4妹尾知典 9) 7佐野

2部では赤井先生の活躍もあり、いい試合をした一方で3部は惨敗という印象を持つ選手あるいは読者もいると思います。しかし、監督として選手として全ての試合に参加した私としては3部の試合も対四国ガス戦のように投手の失点を皆で取り返して逆転勝利していたかもしれないいい試合でした。事実、3部のITALY戦での医師会の残塁はなんと7！勝つチャンスはあったのです。ITALY戦では確かに実力の差はありましたが、あと一本が出ないということ「即実力の差と」いうより試合の流れを対戦チームから医師会に引き戻すことができずに終わった試合であったように思います。

あと一人、医師会野球部を支えていた野球バカがいなかったのです。

投手としてはいつも安定していて、状態の悪いときでもある程度試合を作ってくれる、監督としては最も信頼していた投手でした。打者としては力強いスイングで鋭い打球を左右どちらの打席からも放つスイッチヒッターでした。野球の話をするとなくなりすぎて私と喧嘩になるくらいお互いに野球が好きでした。野球部の皆が復帰を待ち望んでやまなかった杉田英樹選手、満54歳ですい臓がんのため7月3日に他界されました。合掌